

2022年度 東急 子ども応援プログラム

助成先の
市民団体を
募集します

1件あたり
50～
100万円



子どもたちの幸せを支える
地域の活動を応援します。

子どもは一人ひとり多様な可能性を持っています。

しかし、慌ただしい生活時間や限られた人間関係の中で、可能性の芽がのびのびと育ちにくい環境があり、さらには、いじめ、引きこもり、家庭内暴力、経済的に困窮する家庭状況や、不安や困りごとなどを抱えている子どもたちもいます。

地域には、そうした子どもたちをサポートする、家庭や学校以外での大人たちの活動があり、子どもたちや家族が安全・安心で心豊かに暮らせる生活環境づくりをサポートしています。

このプログラムでは、子どもたち一人ひとりが望む「幸せ」につながることを願って、皆さまの活動を支援します。

応募受付期間：2021年9月1日(水)～9月15日(水)必着

詳しくはWEBへ <https://kodomo.tokyu.co.jp/>



東急



現在助成中の活動をご紹介します。



第1回東急子ども応援プログラムとして、2020年7月に10団体へ総額844万円の助成を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、応募時の計画通り進められないこともありましたが、応募時の活動目的はそのままに、手法や時期を変更するなど工夫いただき、活動が進んでいます。

※活動番号1～10は団体名称50音順です。
内容は活動開始時のものです。



1



都筑産小麦でこどもたちが 地元ブランド作り ～都筑こども小麦部

<団体名> NPO法人 Loveつづき
都筑区は農家の数が横浜18区の中で1位であり、小松菜などの野菜は全国シェアの上位ですが、高齢化や後継者不足が課題となりつつあります。今回のプロジェクトでは、地元農家や福祉施設の協力を得て「都筑こども小麦部」を設立し、地域の子もたちとの畑作業から、商品開発までを目指します。



4

利用者の充実した体験を支援する事業

<団体名> 認定NPO法人 子どもセンターてんぼ
団体が運営する「子どもシェルターてんぼ」と「自立援助ホームみずきの家」の利用者に対して、気分転換や自己肯定感の向上につながる外出やレクリエーションの個別外出や行事、旅行などを行うことで、退所後の生活がより豊かになるような体験を支援します。



2



「ドヤ街×子ども×食×アート×SDGs」寿町の未来づくり

<団体名> 認定NPO法人 あっちこっち

横浜市中区寿町に2019年オープンした横浜市寿町健康福祉交流センターを会場に、各種団体と連携しながら地域の子もたちに向けて音楽・アート制作・ダンスなどの芸術と、テーマにちなんだ手作り料理を楽しむ機会をつくります。



3

飛び出せ!おやまち部～学校の枠を超えたまちの部活動～

<団体名> 一般社団法人 おやまちプロジェクト

世田谷区尾山台において、地域全体を学びの場と見立て、地域を舞台にした部活動「おやまち部」を設立。子どもたちが主体的にまちと関わりを持てるよう、まちのいろいろな人たちと出会いながら、まちでやりたいことを見つけ、子ども自らが記者となる新聞の発行、多世代ワークショップなどを行います。



5

公立小中学校の子もたちへ ミニコンサートを届ける活動

<団体名> NPO法人 子どもに音楽を

小学校・中学校へ一流の演奏家によるクラシック音楽を届ける取り組みです。これまでの活動の範囲をさらに広げて、学校や演奏家との調整を行い、5回程度の演奏会を予定しています。



子どものきもちに直接つながる オンラインチャット事業

6

<団体名> 社会福祉法人 世田谷ボランティア協会
せたがやチャイルドライン

社会のコミュニケーション・ツールの変化により、子どもたちのコミュニケーションの方法も変わってきています。チャイルドラインにおいてもこのような変化に対応していくため新たにオンラインチャットを開始すべく、その立ち上げとして、設備や規程類の整備、スタッフの教育・研修などを通じて本格運用の開始を目指しています。終了時には地域の方に向けてイベントを開催し、子どもの置かれている状況などを発信します。



- 1 ヒミツはまもるよ
- 2 名まえはいわなくてもいい
- 3 どんなことでも、いっしょに考える
- 4 イヤになったら、切っていい
- 5 いつでもかけてきていい

8

子ども チャレンジスポーツ! ～障がい児・健常児 みんなで「やってみよう!」「手伝ってみよう!」

<団体名> NPO法人 BLACKSOX

東京・神奈川の東急線沿線地域において、障がい児や医療的ケア児、健常児のスポーツサポートを行うために、学校や体育施設で行う「体験会」と、スポーツ体験と同時に両者の出会いの場を提供する「チャレンジスポーツ」イベントを実施します。また実施を支えるスタッフやサポーターらによる「ミーティング」も行い、研修や振り返りを通じて経験の蓄積と支援の質的向上を目指します。



10

萌カフェ（子どもも家族も楽しめる支援の拠点を目指して）

<団体名> NPO法人 レスパイト・ケアサービス萌

横浜市において在宅療養する医療的ケア児や障がい児へ、子どもとして大切な「遊び」の支援を行います。医療や保育、介護スタッフが常駐する場で、子どもばかりでなく「きょうだい」も、親と共に安心して遊ぶことのできる機会を地域の中につくり出します。また発信を通じて地域との交流機会をつくり出し、社会的な理解促進につなげます。

外国につながる子どもたちの居場所 「地球っ子教室」

7

<団体名> 認定NPO法人 地球学校

親の都合で来日した外国にルーツのある小中学生を対象に、日本語の指導、学習支援、居場所の提供を行う「地球っ子教室」の充実を図るものです。利用者の増加に対応するためのスタッフの増員、外部専門家を招いた運営委員会や研修を通じて、子どもたちが日本で支障なく生活し、学校で学び、望む進路や夢をかなえるサポートを行います。

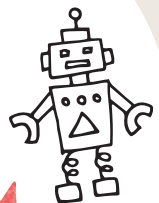


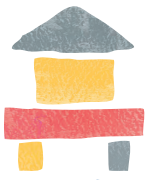
9

コミュニティカフェを基地にして 「自由な居場所」を 子どもたちと作るプログラム

<団体名> NPO法人 街カフェ大倉山ミエル

横浜市港北区大倉山を中心に、地域の子もと親たち双方の参加により、子どもが安心して日常的に集うことのできる居場所と地域参加のプログラムづくりに取り組みます。また活動の記録作成を行い、終了時には親御さんや子ども主体による展示会も実施します。





プログラム概要

[助成対象となる活動]

子どもを取り巻く社会課題の解決を目指し、子どもたちの幸せを支える地域の活動

[活動例]

1 子どもが安全で安心できる場を提供する活動

- ・居場所づくりや子ども食堂などの活動、シェルター活動
- ・コロナ禍の環境変化により生きづらさを抱えた子どもたちの支援に関わる活動 など

2 障がいや難病とともに暮らす子どもと家族を支援する活動

- ・外出支援の活動、入院児の学習支援の活動、きょうだい支援の活動 など

3 外国にルーツを持つ子どもたちの支援や多文化共生を目指す活動

- ・日本語学習サポート、進学支援、キャリア教育、
日常生活に関する情報提供サポート(例「やさしい日本語」の活用) など

4 子どもの「生きる力^{*}」の向上につながる活動

- ※ 困難な環境でもしなやかに生きていく力、子ども自ら好奇心を持って考えて行動していく力
- ・文化・芸術・スポーツなどを通じて生きづらさや困難を乗り越え、生きる力を育む活動、
地域や社会を知る活動、自然を体験して遊び学ぶ活動 など
(塾や習い事を除く)

5 子どもたちの安全・安心な暮らしを支えるコミュニティをつくる活動

- ・支援者育成、ボランティア育成、ネットワーク支援、普及啓発活動 など

6 その他、本プログラムの趣旨に合致する活動

※このプログラムでは、活動の発展やステップアップにつながる取り組みを期待します。

※本プログラムの第1回助成対象活動も応募が可能です。



■ 助成対象となる団体

- ・民間非営利団体であること。法人格は問いません
(特定非営利活動法人、一般・公益法人、任意団体など。任意団体の場合は
会則があること)
- ・助成対象となる活動地域が東急線沿線の市区内^{*}にあること
(主たる事業所はそれ以外でも構いません)
※ 東京都：品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・町田市
神奈川県：横浜市 神奈川区・西区・中区・港北区・緑区・青葉区・都筑区
川崎市 中原区・高津区・宮前区 大和市
- ・応募締切日(2021年9月15日)に団体設立後2年以上の活動実績があること
- ・団体のホームページやSNSなどで活動や団体概要が公開されていること
- ・助成開始後、報告書の提出や報告会などへの出席に同意すること
- ・団体の目的や活動が政治・宗教などに偏っておらず
反社会的勢力とは一切関わっていないこと

■ 助成期間

2022年4月～2023年3月(1年間)

■ 助成額

1件あたりの助成額：50～100万円(合計10件程度に助成予定)

■ 選考方法

選考委員会による書類選考を行います。
選考委員会は、学識経験者、NPO実務経験者、主催企業担当者などで
構成します。

■ 選考結果

2022年2月28日までにお知らせします。

■ 応募方法

募集要項は
<https://kodomo.tokyu.co.jp/> をご覧ください。
応募は、必要書類をメールにてお送りいただきます。

■ 主催

東急株式会社

■ 問い合わせ先

東急株式会社
社長室 サステナビリティ推進グループ 社会活動推進担当 東急子ども応援プログラム事務局

Email : kodomo@tkk.tokyu.co.jp

